

お尻が小さくてエ
ッチな義母と洋服
屋　そしてそのあ
と街の外れのショ
ッピングモールへ

義母はシャワールームで冷ためにした
水を全身に浴びて大きな胸を両手で鷲
掴み触っていた・・・・・・・・。

真っ白下着をもっと増やさなきゃ……。

安堵のため息。

ダンスにはたくさんの下着がセットされコレクションの一つとなっている。

ノズルから出て肌をなぞったあと、上へ登っていく湯気。

壁の白さと相まって義母のカラダ……
その肌色の大半が隠れている。

先ほどシャワールームへ入る前、LINEで友人のママ友と会話していた。

最近激しい長時間のセックスによってママ友はおっぱいとお尻が成長したと話していた。

そして次の日、一緒に電車で都心へ服を

買いに行く予定を立てた。

とっても俺は嬉しかった・・・。

トイレへ行ったあと義理ママとシャワールームへ合流。

その柔らかくて張りのある肌とおっぱい、むっちりお尻を狭い浴室の空間で数時間たっぷり食べて楽しんだ。

成長したのはママ友だけではない。

ママのおっぱいとお尻も今、セフレや俺

とのエッチによって急成長中。

俺たちはそのあとリビングへ行く。そして提案をした。

「明日ママ友のレイナさんと買い物へ行く予定立てたんだけど一緒に行かない？」

．．．．二人とも裸。

そんなハダカの俺たちにとって部屋中．．．．いやマンション全体が温かいシャワールームである。

リビングのソファに座って俺たちはゆっくりと紅茶をリビングで飲む。

義理ママは風呂上がりのホットパンツ。

もちろんシャワールームではたっぷり舐め合っていた。

深夜になり、ベッドの上で更に舐め合う。

濃密な時間のどこか片隅で・・・・スマ
ホの着信があった。

その間・・・毎晩のようにこの自宅には義理ママのセフレが来ている。

・・・夜、ベッドの上。

朝の白いシーツと下着・・・・・・・・。

まだカーテンを閉めたまま。

仰向けにベッドに寝そべりLINEを
している・・・・・・・・。

起き上がってベッドを下りるママのむ

っちり太もも。掛け布団を少し直しながらもう一度この日の予定を確認している。

朝・・・台所に立って真っ白下着姿で料理している義母。

毎晩のセックスがはっきり出ているようなお尻の小ささ。

むっちり。包丁の音。ちゃんと料理を作っている。

少し残念そうにママが呟いた。

「・・・・・・・・・・レイナさんの息子さん
キャンセルらしいわ」

台所。窓の外は晴れ。

ママは困った表情。お尻だけはしっかりと締まっていて小さい。

せっかく一日の予定を埋めたのにとため息。

仕方ないので俺は提案。

すぐそばの空き地近くの家に住む同年代の友人マユタを誘った。

「今日さママとモールまで行って洋服屋で服を買うんだけど……」

．．．．近くの寂れた空き地は最近改装されて駐車場になっている。

友人と世間話をしながら軒先まで。友人はそっと太ももに手をやった。

そしてスマホ画面を見つめながら言った。

「買い物行くんだ！！リュウヤのママって確かおっぱいすっごく大きいよね」

マユタは続ける。

「・・・・・・・・この間この近くで真っ白な
キャミソール着てたの見てたよ」

大きく盛り上がっていた胸元。

・・・・・・・・マユタは最近恋人にフラれたばかりである。

そんなマユタも新しいセフレが出来た。

現在、彼女とラブホ通いの日々。

時折混浴温泉にハダカで一緒に入浴することもある。

マユタは日帰りの買い物に賛成。

早速、4人は買い物へ・・・・・・・・。

待ち合わせ場所の駐車場に、リュウヤと向かう。

女子たち二人は駐車場へ到着していた。

マユタと俺は列車で都心部に向かいながら胸を弾ませる。

マユタはうずうずした様子だった。

シャワールームのリュウヤのママのハ
ダカ・・・・・・・・。

「確か綺麗で胸も大きかったな・・・」

(体験版は以上になります。ご読了あり

がとうございました)